

平成28年度 磐田市立福田中学校 学校評価書

重点	目標・取組	評価指標	自己評価	考察・改善策	学校関係者評価委員から
学ぶ喜びを感じる生徒	授業や家庭学習の取組を通して、主体的な学習態度を身に付けた生徒の育成	「進んで教師に聞いたり、自分で調べたりするなど主体的に学習できる」(70%)	C	○「進んで教師に聞いたり自分で調べたりして学習できる」と答えた生徒が 65% 。 ※全体では昨年度の68%から数値を落とした。今年度は昨年度と同様に定期テスト前に「放課後学習相談会」を実施した。各学年とも参加する生徒が増加傾向にあり、学力向上に対する意識は高まってきている。来年度も継続していくとともに、家庭での学習習慣を確実に身につけさせることにも力を入れて指導していきたい。	・放課後学習相談会は効果があると考えられるため、ぜひ継続して実施してほしい。また、その実施方法を工夫、改善したい。生徒の実情にあった支援方法を教員と相談の上確立したい。 ・学府で連携し、読書量を増やす取り組みをしたい。 ・辞書や副教材資料などの活用方法を生徒へアドバイスすることで家庭学習の習慣づけになる。 ・65%が前向きな姿勢なのは評価できる。
友達と創る生徒	・学校行事への取組を通して、「感動」を友と共有する生徒の育成	「学級・生徒会活動や学校行事に進んで取り組み、喜び、悔しさなどの感動を友と共有できた」(85%)	A	○「学級・生徒会活動に進んで取り組み感動を友と分かち合えた」と答えた生徒が 85% 。 ※ここ数年、行事に対する生徒の取組は大変意欲的である。特に生徒会活動が活発に行われており、係活動に対する生徒の意識は高い。一人一役を基本的な考えとし、「認め、励まし、賞揚する」機会を多くもたせることで、更に自己有用感の向上を図りたい。	・行事に対し前向きに取り組み活動することは、自ら考えて行動する機会が増え、良い結果につながると感じる。 ・日常の人間関係や生活の落ち着きが、校内行事の盛り上がりや生徒の達成感につながっていると感じる。 ・85%以上の生徒が「感動を分かち合える」環境にいることは好ましい。
慣る生徒	・良好な生活習慣を確立することにより、高い規範意識をもつ生徒の育成	「私たちの学級(学校)には互いにルールを守り、協力する雰囲気がある」(80%)	A	○「私たちの学級(学校)には互いにルールを守り、協力する雰囲気がある」と答えた生徒が 82% 。 ※一昨年度の80%、昨年度の81%から年々向上が見られる。「ルールを守れず他の生徒に迷惑をかける」ようなことが減ったことが原因だと考える。「生徒が安心・安全に生活できる学校生活」をめざし、今後も家庭・地域・学校が力を合わせ、協力・連携して生徒を指導していきたい。	・規範意識は学校生活以外でも大切なことである。ルールを守り、協力する雰囲気がある集団では、どのようなプラスの効果があるのかを実感させたい。(学力向上等) ・磐田市のボランティア活動の経験も意識の向上に役立っていると感じる。
命を守り健康な体をつくる生徒	・命を守る判断力を持ち、主体的に心身の健康づくりに努める生徒の育成	「健康10か条を守って生活できた」(80%)新規	B	○「健康10か条を守って生活できた」と答えた生徒が 86% 。 ※新規の取組であるが、目標の数値を上回る結果が得られた。特に毎月行う健康チェックカードの反省では、挨拶や睡眠など自身の生活習慣において良好な結果が見られた。しかし、地域の方から自転車マナーについての苦情が多数寄せられていることも事実であり、全体ではないにせよ、生徒の安全への意識が低いことがうかがえる。来年度も教職員が定期的に見回りや登校指導を行うなど、生徒の安全意識の啓発を図りたい。学府の目標である「良好な生活習慣」を確立するため、今後も小中連携しながら個々の生徒の指導にあたりたい。	・基本的な生活習慣が向上してこそ、学力向上につながる。自転車のマナーは生命に関わることなので再三再四注意喚起をしたい。 ・健康十か条は大人になっても生活の基本的な内容である。なぜ必要かなど意味を深めていけば、家庭にも浸透すると感じる。 ・健康意識の向上(86%)が教育効果の表れであると評価したい。
頼もしい教師	・「学びの実感」を積み重ね、求められる学力を身に付けた生徒の育成	「授業の内容がよく分かる」(75%)	C	○「授業の内容がよく分かる」と答えた生徒が 73% 。 ※昨年度が74%であったため、数値としては大きくは変わらなかった。数学科のTT指導や支援員による個に応じた学習支援など、個に応じたきめ細やかな指導を行っているが数字として表れていないのが現状である。全国学調の分析や新学習指導要領の研修などを充実させ、教師の授業改善を進めていきたい。	・アクティブラーニングの理念を各教科、担任ごとに共通認識し、PDCAのサイクルを生かしながら授業実践・改善につなげ数値の向上につなげてほしい。 ・授業参観した様子では、学習を投げている生徒も見受けられないため、少しずつ結果が向上する兆しだと感じる。 ・個に応じた学習支援はとても大切な事だと感じる。 ・授業参観会の機会に、参観した保護者に授業評価をお願いすることも「授業改善」につながると感じる。

学校関係者評価を受けてのまとめ

学校全体に落ち着いた雰囲気が生まれ、それが教育活動全体に好影響を及ぼしている。今後も生徒を認め励まししながら、「何事にも前向きな姿勢で取り組める生徒の育成」を常に念頭に置き、幼稚園・保育園・小学校・中学校そして地域が一体となって福田の子供たちの指導にあたりたい。特に来年度は、個々の生徒の実態に応じた教育的支援を教員だけでなく、地域の方の協力も得ながら充実させることで、「主体的に学習を進める生徒」「求められる学力を身に付けた生徒」の育成をはかり、「授業の内容がよくわかる」生徒の割合を向上させたいと考える。